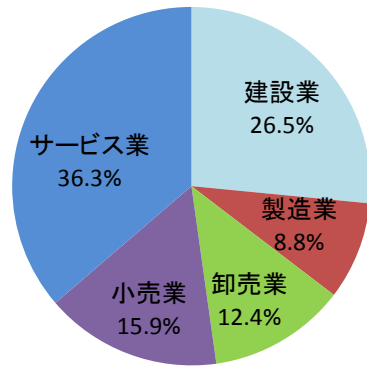


# 弘前地域企業短期景況観測調査（10月～12月期分）結果報告

## 1. 調査概要

- 1) 調査対象企業：弘前商工会議所議員、部会役員、小規模企業振興委員 旅館・ホテル組合役員、石油卸売業の各企業
- 2) 調査対象期間：平成23年10月～12月期
- 3) 調査時期、方法：平成24年1月3日 調査票発送(FAX)  
平成24年1月20日 調査票回収締め切り (FAX)
- 4) 回答率：49.8% (回答企業数107企業/調査企業数215企業)
- 5) 回答企業の業種割合：(右の円グラフをご参照ください。)

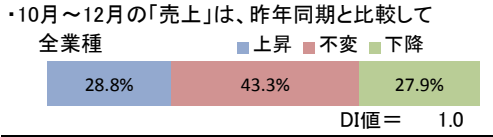


注) 5)「在庫」については、本来であれば「不足」との回答は良好な傾向を示しますが、今回の「在庫不足」の要因は物流の停滞に起因するものであるため、点線で示した方をご参照ください。

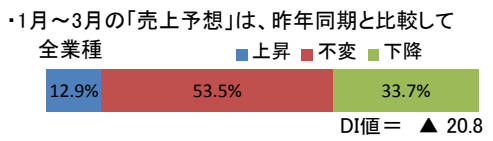
## 2. 景況動向について

※表中DI (Diffusion Index)値とは、(増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合) で計算される景況判断指数です。

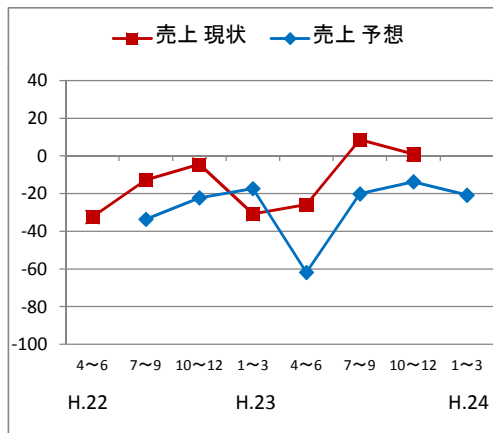
### 1)「売上」について



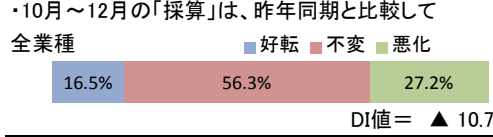
(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	31.0%	41.4%	27.6%	3.4
製造業	30.0%	50.0%	20.0%	10.0
卸売業	28.6%	28.6%	42.9%	▲ 14.3
小売業	33.3%	61.1%	5.6%	27.8
サービス業	24.2%	39.4%	36.4%	▲ 12.1



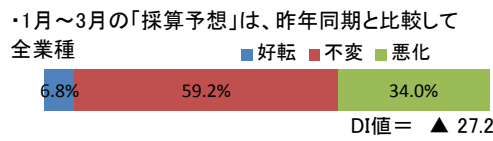
(業種別)	上昇	不変	下降	DI値
建設業	3.8%	53.8%	42.3%	▲ 38.5
製造業	10.0%	70.0%	20.0%	▲ 10.0
卸売業	14.3%	50.0%	35.7%	▲ 21.4
小売業	16.7%	50.0%	33.3%	▲ 16.7
サービス業	18.2%	51.5%	30.3%	▲ 12.1



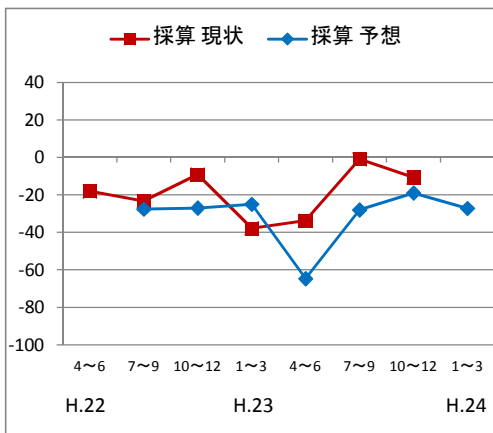
### 2)「採算」について



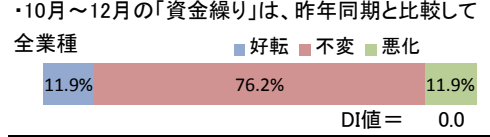
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	13.8%	44.8%	41.4%	▲ 27.6
製造業	30.0%	50.0%	20.0%	10.0
卸売業	14.3%	57.1%	28.6%	▲ 14.3
小売業	11.1%	77.8%	11.1%	0.0
サービス業	18.8%	56.3%	25.0%	▲ 6.3



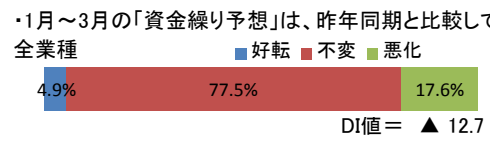
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	10.0%	46.7%	43.3%	▲ 33.3
製造業	0.0%	70.0%	30.0%	▲ 30.0
卸売業	7.1%	64.3%	28.6%	▲ 21.4
小売業	0.0%	70.6%	29.4%	▲ 29.4
サービス業	9.4%	59.4%	31.3%	▲ 21.9



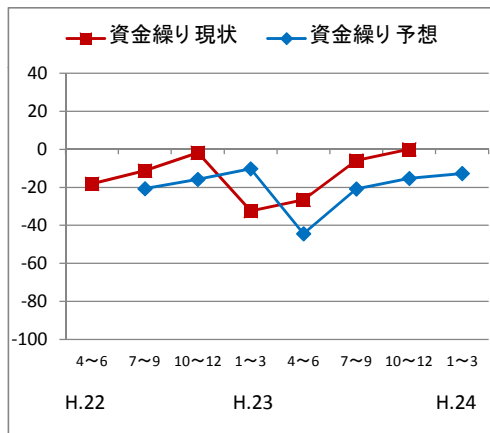
### 3)「資金繰り」について



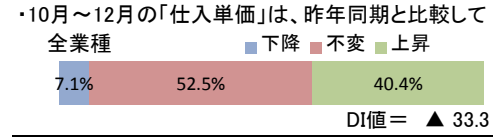
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	17.2%	72.4%	10.3%	6.9
製造業	10.0%	80.0%	10.0%	0.0
卸売業	14.3%	71.4%	14.3%	0.0
小売業	5.9%	88.2%	5.9%	0.0
サービス業	9.7%	74.2%	16.1%	▲ 6.5



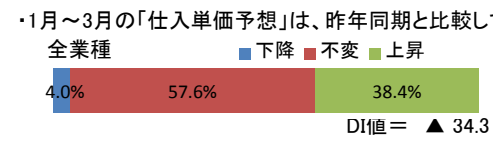
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	13.3%	76.7%	10.0%	3.3
製造業	0.0%	80.0%	20.0%	▲ 20.0
卸売業	7.1%	71.4%	21.4%	▲ 14.3
小売業	0.0%	76.5%	23.5%	▲ 23.5
サービス業	0.0%	80.6%	19.4%	▲ 19.4



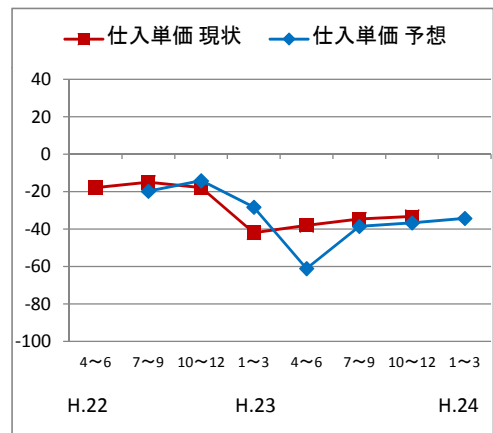
### 4)「仕入単価」について



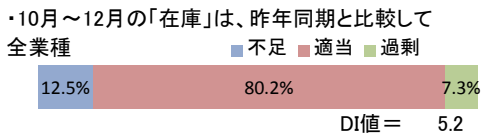
(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	7.1%	32.1%	60.7%	▲ 53.6
製造業	0.0%	50.0%	50.0%	▲ 50.0
卸売業	7.1%	42.9%	50.0%	▲ 42.9
小売業	5.6%	66.7%	27.8%	▲ 22.2
サービス業	10.3%	69.0%	20.7%	▲ 10.3



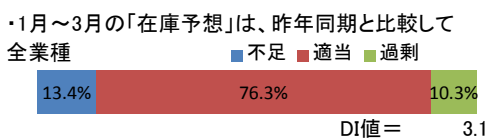
(業種別)	下降	不変	上昇	DI値
建設業	6.9%	41.4%	51.7%	▲ 44.8
製造業	0.0%	44.4%	55.6%	▲ 55.6
卸売業	7.1%	42.9%	50.0%	▲ 42.9
小売業	0.0%	66.7%	33.3%	▲ 33.3
サービス業	3.4%	79.3%	17.2%	▲ 13.8



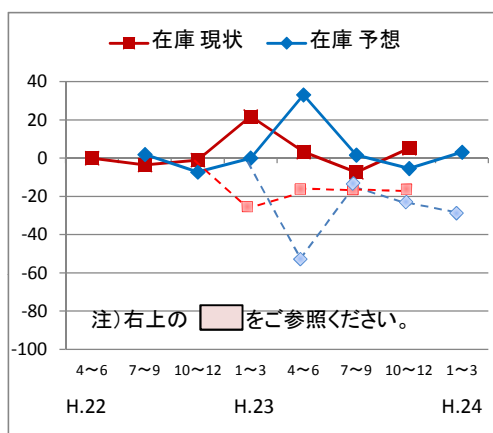
### 5)「在庫」について



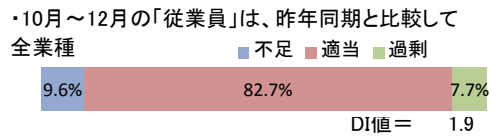
(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	17.2%	82.8%	0.0%	17.2
製造業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1
卸売業	28.6%	50.0%	21.4%	7.1
小売業	5.6%	72.2%	22.2%	▲ 16.7
サービス業	3.8%	96.2%	0.0%	3.8



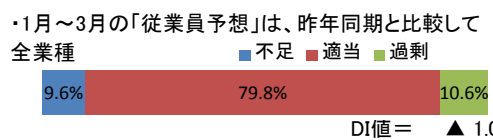
(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	20.0%	73.3%	6.7%	13.3
製造業	10.0%	80.0%	10.0%	0.0
卸売業	28.6%	57.1%	14.3%	14.3
小売業	5.6%	66.7%	27.8%	▲ 22.2
サービス業	4.0%	96.0%	0.0%	4.0



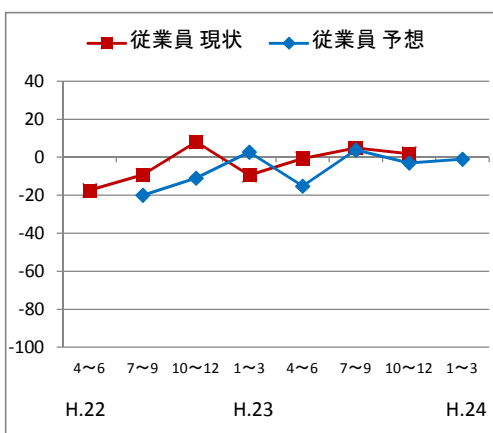
### 6)「従業員」について



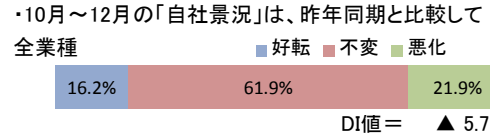
(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	13.8%	79.3%	6.9%	6.9
製造業	0.0%	90.0%	10.0%	▲ 10.0
卸売業	7.1%	71.4%	21.4%	▲ 14.3
小売業	0.0%	88.9%	11.1%	▲ 11.1
サービス業	15.2%	84.8%	0.0%	15.2



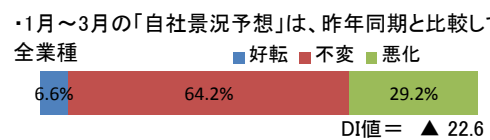
(業種別)	不足	適当	過剰	DI値
建設業	10.0%	83.3%	6.7%	3.3
製造業	0.0%	80.0%	20.0%	▲ 20.0
卸売業	0.0%	71.4%	28.6%	▲ 28.6
小売業	0.0%	88.9%	11.1%	▲ 11.1
サービス業	21.9%	75.0%	3.1%	18.8



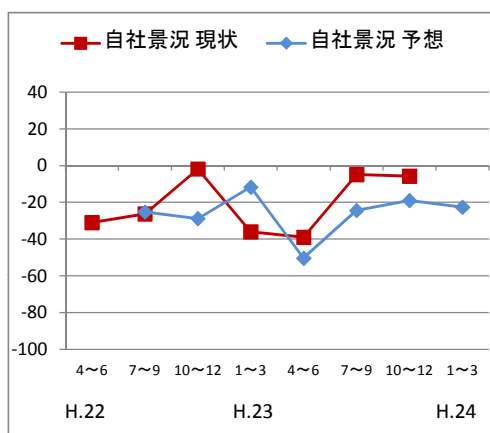
### 7)「自社景況」について



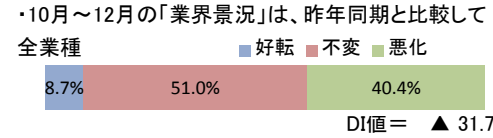
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	20.7%	62.1%	17.2%	3.4
製造業	11.1%	55.6%	33.3%	▲ 22.2
卸売業	7.1%	57.1%	35.7%	▲ 28.6
小売業	5.6%	77.8%	16.7%	▲ 11.1
サービス業	22.9%	57.1%	20.0%	2.9



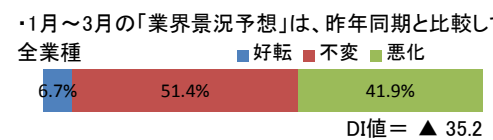
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	6.7%	70.0%	23.3%	▲ 16.7
製造業	0.0%	60.0%	40.0%	▲ 40.0
卸売業	0.0%	57.1%	42.9%	▲ 42.9
小売業	5.6%	61.1%	33.3%	▲ 27.8
サービス業	11.8%	64.7%	23.5%	▲ 11.8



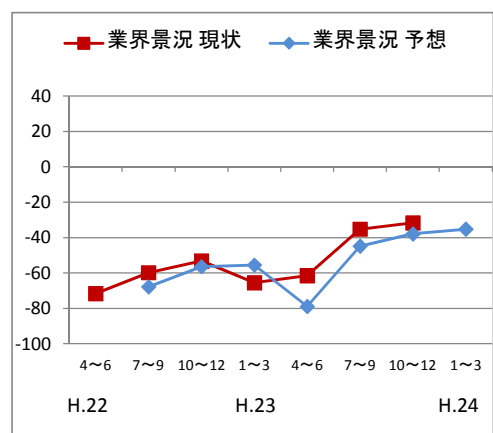
### 8)「業界景況」について



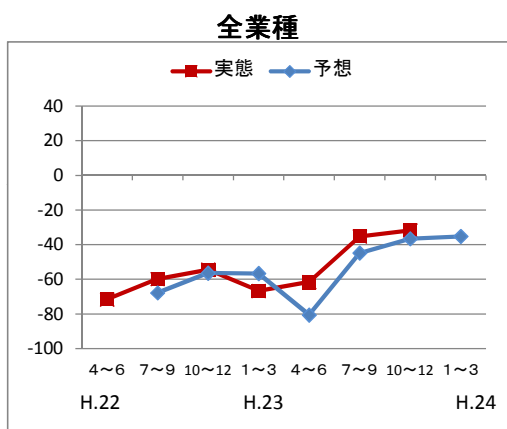
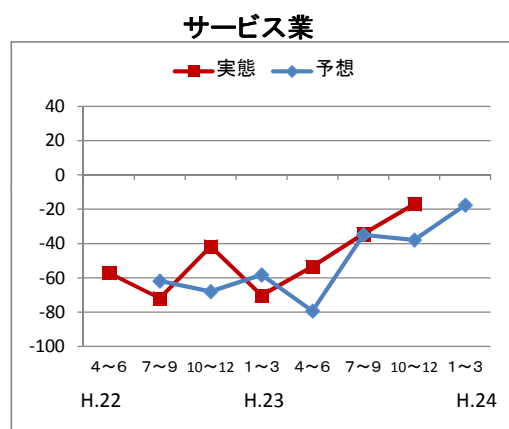
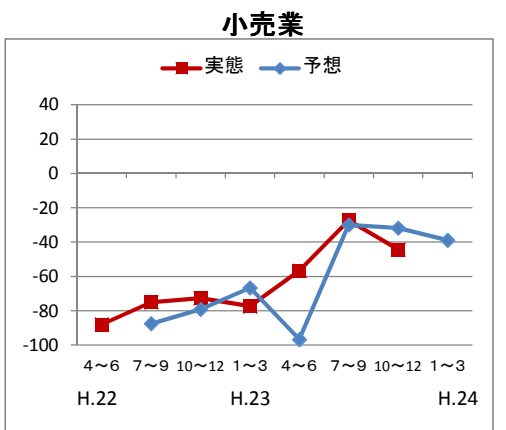
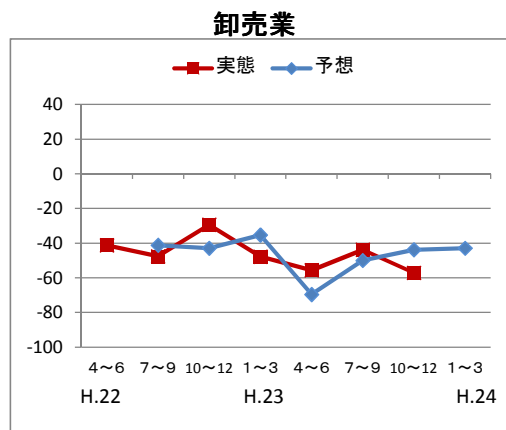
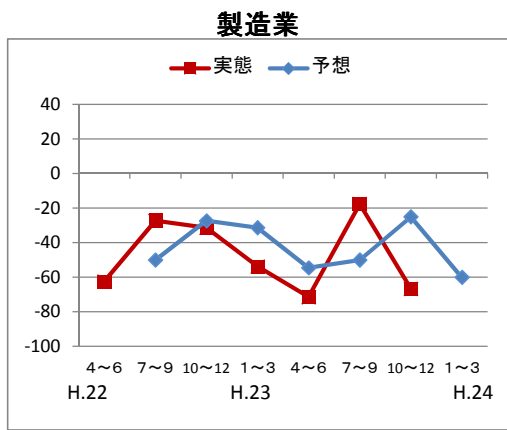
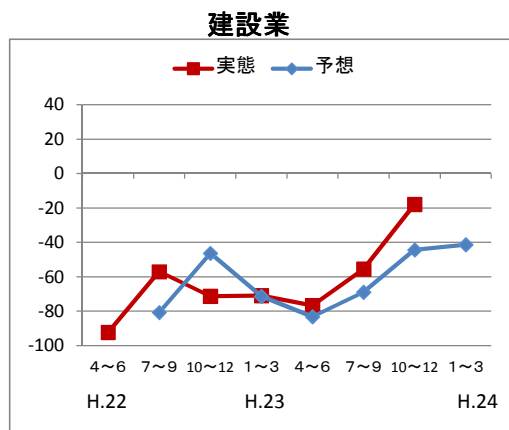
(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	14.3%	53.6%	32.1%	▲ 17.9
製造業	0.0%	33.3%	66.7%	▲ 66.7
卸売業	0.0%	42.9%	57.1%	▲ 57.1
小売業	0.0%	55.6%	44.4%	▲ 44.4
サービス業	14.3%	54.3%	31.4%	▲ 17.1



(業種別)	好転	不変	悪化	DI値
建設業	6.9%	44.8%	48.3%	▲ 41.4
製造業	0.0%	40.0%	60.0%	▲ 60.0
卸売業	0.0%	57.1%	42.9%	▲ 42.9
小売業	0.0%	61.1%	38.9%	▲ 38.9
サービス業	14.7%	52.9%	32.4%	▲ 17.6

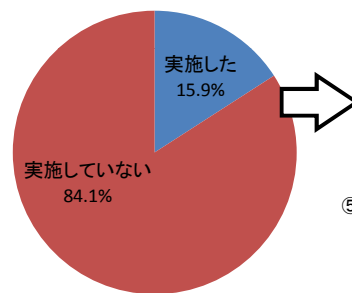


◆業種別の業況推移

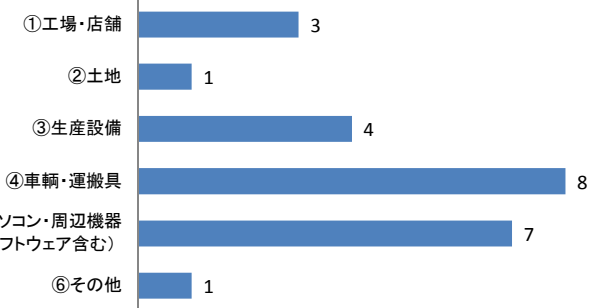


3. 設備投資動向について

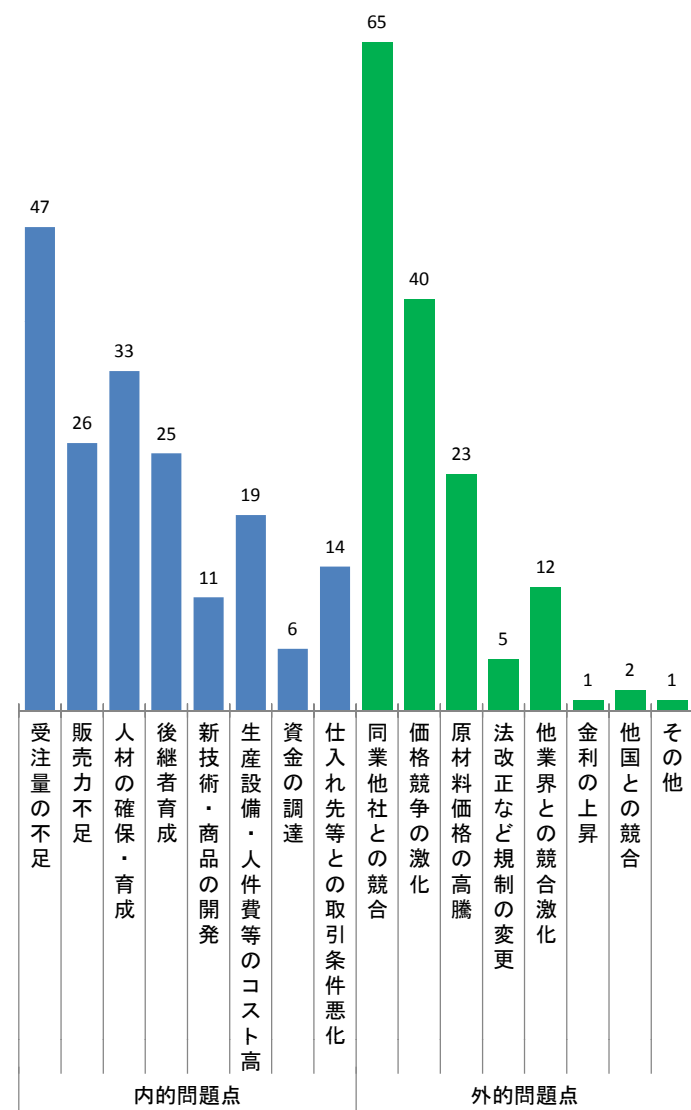
1) 10月～12月の間に設備投資を(実施した/実施していない)



2) 設備投資の内容について(複数回答可)

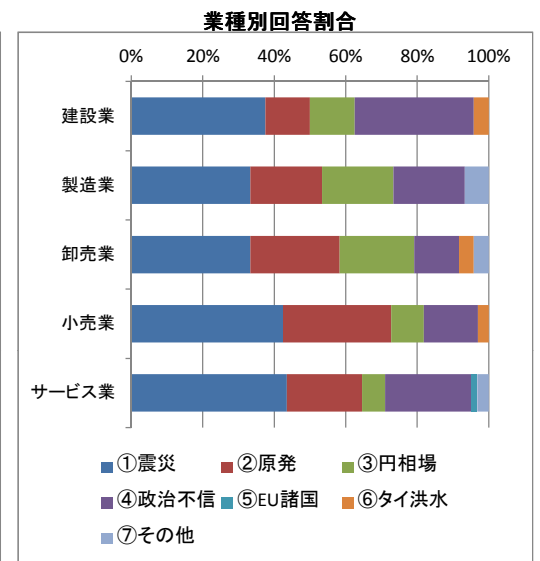
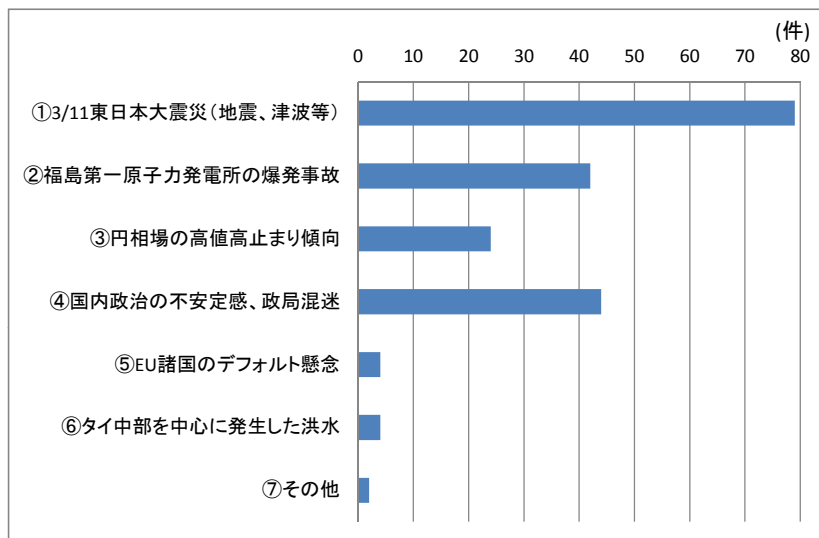


4. 経営上の問題点について(複数回答可)

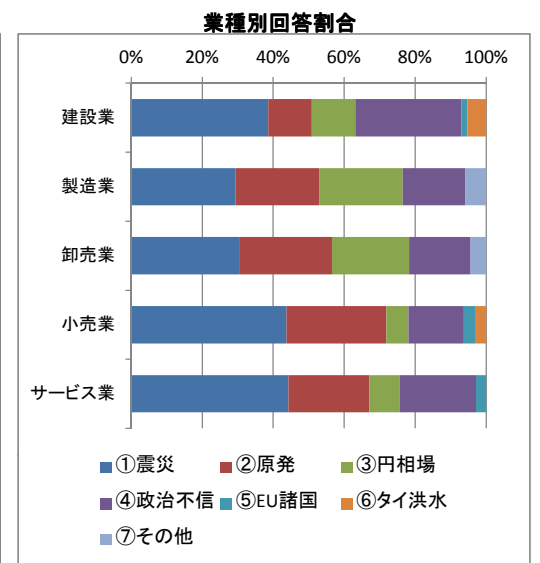
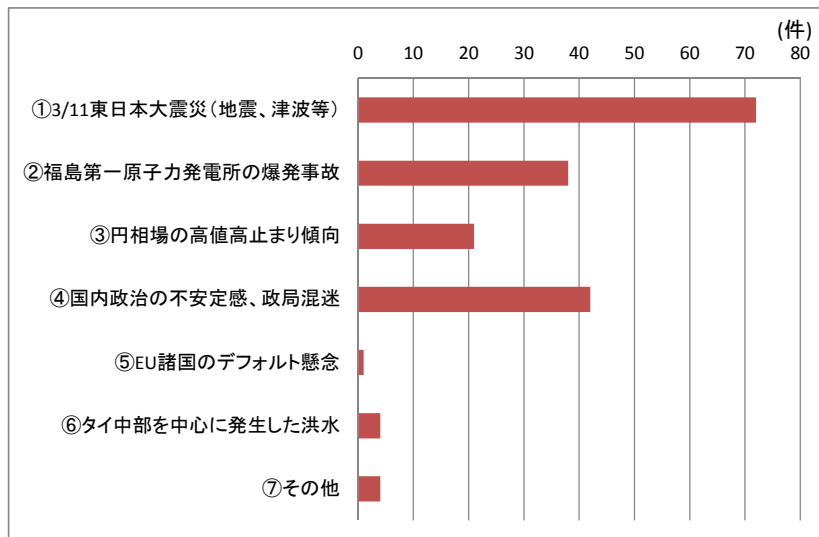


5. 2011年を振り返って(複数回答可)

1) 地域経済に最も影響を及ぼした事柄・出来事



2) 会社経営に最も影響を及ぼした事柄・出来事



6. キーワード、トピックス、関心事項

- ・ 震災復興需要の動向
- ・ 消費税増税による影響
- ・ 円相場の高値高止まり
- ・ 原発事故の情報の不透明感
- ・ 国内政治の不安定感、政局混迷
- ・ 人材不足(職人、技術者 ⇒ 建設業)

【調査結果のポイント】

弘前地域の景況は小幅ながら改善傾向を示し、回復基調を継続しました。先行きについては不安要素、懸念材料が多いことから慎重な見方をしています。

これを受けて設備投資動向は低調な状況を示しました。

◆業種別の景況感

- 【建設業】引き続き厳しい状況にあるものの景況は回復基調を示す一方で、職人不足による人件費の高騰、原材料価格の上昇により、採算の悪化が指摘され、先行きについては慎重な見方をしています。
- 【製造業】海外の情勢不安定、景気の低迷、自然災害等の影響により景況は大幅な悪化傾向。先行きについても警戒感が強く低調との判断をしています。
- 【卸売業】原発事故の風評による輸出の伸び悩み、円高、原材料価格上昇により景況は悪化傾向。先行きについても慎重な判断をしています。
- 【小売業】買い控えの解消、省エネ駆け込み需要等の一服感(反動)から景況は悪化傾向。先行きについても警戒感を強めています。
- 【サービス業】震災による自粛傾向解消や民間団体の被災地支援事業の積極的活用等から景況は引き続き好調。先行きについても強気の判断をしています。

調査データにつきましては、当所ホームページ (<http://www.hcci.or.jp>) > 調査研究 > 調査刊行物からダウンロードいただけます。

本件担当：弘前商工会議所 情報調査課 TEL 0172-33-4111 FAX 0172-35-1877